

広島東洋カープ石井琢朗コーチとファイテンのコラボ・ミッションが成功。

広島県の野球少年34名を広島MAZDAスタジアムへ招待します。

「1泊2日マツダスタジアム観戦・観光ツアー〜野球を通じて日本を元気に！〜」

現広島東洋カープコーチ石井琢朗氏（2012年引退）と健康・スポーツ・美容商品を製造販売するファイテン株式会社（京都府京都市、代表取締役：平田好宏、<http://www.phiten.com/>）は、昨年24年間の現役生活にピリオドを打った広島東洋カープ 石井琢朗選手の引退を記念して、クラウドファンディングサイト「MISSION BOX（ミッションボックス）」にて、完全限定生産による「RAKUWAネックX50 石井琢朗引退記念モデル」の予約販売を行ってまいりました。

そのミッションが目標金額を達成し、商品売上の一部を移動や宿泊など支援金とすることができ、東日本大震災で大きな被害にあった広島県の子供たちを8月8日マツダスタジアムで行われます広島対阪神戦に34名の野球少年をご招待することが決定をしました。

このコラボレーション・ミッションは、石井琢朗コーチの思いをファイテン社が受け、ともに成功に導くために、所属事務所株式会社RIGHTS. (<http://www.s-rights.co.jp>)、株式会社サンフィールド (<http://sanfield.net/athlete/>)、非特定営利活動法人オンザロード (<https://otr.or.jp/>) の3社が協力をし、また購入者の皆様の熱い支援があって成功に至りました。

招待された子供達の予定は以下の通りです。

8月8日（木）：マツダスタジアムにて試合観戦（試合前に練習見学と石井コーチとの交流）

8月9日（金）：午前中石井コーチとの交流（予定）、午後広島市内観光。

【石井琢朗コーチの思い】（石井琢朗オフィシャルブログ4月1日より抜粋）

もう一つ達成したいクラウドファンディングは『福島の子どもたちをマツダスタジアムへ』というミッション。なぜ？福島の子どもたち限定なのか。という思う方もいるでしょうがそこは、やっぱり広島だからこそなんです。この間も、ここで書きましたが広島は、人類が原子爆弾を経験した街。放射能によって被災した街です。今の福島が、まさにそう。原発事故の影響で、放射能に苦しんでいます。

そんな福島の子どもたちにマツダスタジアムで野球を見て元気になってもらいたいというのが趣旨ではありますが、それと同時に、原爆により被災した広島という街がどうやって復興し、どうやって元気な街になって行ったかというそんな広島歴史もぜひ見て聞いてもらいたいんです。そして、これから復興していく過程において子どもたちに、勇気と元気を与えたいんです。今の絶望を、これからの希望に変えてあげたいんです。広島だからこそです。